

『子会社 三協フロンティア・テクノロジーズ・ミャンマーの紹介』

2018年12月にミャンマー最大の都市ヤンゴン中心部から南東20kmに位置するティラワ経済特区(SEZ)に、子会社 三協フロンティア・テクノロジーズ・ミャンマー(Sankyō Frontier Technologies Myanmar Company Limited)を設立いたしました。

ティラワ経済特別区は日本政府とミャンマー政府による官民共同プロジェクトです。総開発面積約2,400ヘクタールで、浄水・配水、電気、通信設備などインフラをすべて日系企業が整備しており、大手自動車メーカーが進出するなど注目を集めています。

三協フロンティア・テクノロジーズ・ミャンマーは敷地面積18,132㎡(5,484坪)で、生産工場と物流センターを併設しています。2019年11月には1,267㎡の工場棟が完成、生産設備を導入し、本格的な稼働に向け準備をすすめております。今後はモバイルスペースや部材を製作し、ミャンマー国内だけでなく東南アジア市場へ向けて供給する、グローバルな拠点とすべく取り組んでまいります。



工場全体



事務所外観



工場棟外観



工場棟内観



当社ホームページのご案内

今後とも、事業報告書やホームページの充実を図り、株主の皆様方へ分かりやすい情報提供を心がけてまいります。

<http://www.sankyofrontier.com/>